小児Ⅱ　様式Ⅱ－５

**成　長　発　達　ア　セ　ス　メ　ン　ト**　　　　　　　　学籍番号：

　　年　　月　　日作成　　患児愛称　　　　　男・女　　　歳　　ヶ月　　　　　　　　　　　　　　　 氏 　名：

| 受　持　ち　患　児　の　情　報 | ア　セ　ス　メ　ン　ト |
| --- | --- |
| 1. 生育歴

１）妊娠経過２)分娩経過：　　　在胎週数　　週　　日娩出様式：　３）出生時体重　　　　　g４）仮死：無・有（　　　　　　　　　　　）５）発育状態　　６）身長　　　　cm（　／　）**いつのデータかを記入**７）体重　　　　㎏（　／　）**入院期間中に体重の増減が著しい場合は、**８）成長評価　　　　　　　　**その経過も記入する。**　　　　指数：**対象患児によって適切な指標を選択。****カウプ指数、ローレル指数、**　　　　　　　**パーセンタイル値等を使用する。**※受持ち患児の情報として、カルテ・患児・家族より得る。 | 1. **患児の「現時点」のみでなく、今までの経過を踏まえながら今後についても考える。**
2. **患児のQOLを高めるために、看護上の問題や看護ケアについて考察する。**
3. **成長評価指数では、選択した根拠を示す。必要な場合は補正すること。**
 |
| ２．発達評価方法：　**評価方法は具体的に記入（遠城寺式、日本版デンバー、横地の分類など）。****評価法の各項目に関連する事象について、学生が観察した結果を記入すること。** | **観察した結果から「発達段階」を分析、評価し、どう判断したのかを記入する。****正常か異常かを判断し、異常であれば、レベルに応じた介入の必要性を考察する。**1. **経過観察が必要なのか**
2. **看護者の介入が必要なのか**
3. **医師の介入が必要なのか**
 |

九州看護福祉大学　看護学科